

## 追加議案第2号

高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(昭和44年高根沢町条例第1号)の一部を改正する条例を、別紙のように定める。

令和4年3月16日

高根沢町長 加藤公博

高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正の概要について

1 改正理由

人事院勧告に基づく関係法律の一部改正に伴い、本町においてもこれに準じ、所要の改正をしようとするものです。

2 改正内容

(1) 支給割合の改正

町議会議員の令和4年6月期以降の期末手当の支給割合を改定するものです。

【期末手当の支給割合】

改正前

6月	12月	合計
167.5/100	167.5/100	335/100

改正後

6月	12月	合計
162.5/100	162.5/100	325/100



(2) 令和4年6月に支給する期末手当に関する特例措置

令和3年12月の実際の期末手当支給額と人事院勧告に準じた改定が行われていたとした場合の当該期末手当の額との差額（調整額）を、令和4年6月に支給する期末手当の額から減ずるものです。（附則第2条）

$\underbrace{\text{令和4年6月本来額}}_{\text{"基準額"}} - \underbrace{(\text{令和3年12月支給額} \times \text{割合})}_{\text{"調整額"}} = \text{令和4年6月支給額}$
--

割合 : 10/167.5

3 施行日

公布の日

高根沢町条例第 号

高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

高根沢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例（昭和44年高根沢町条例第1号）の一部を次のように改正する。

改正後	改正前
<p>(期末手当)</p> <p>第5条</p> <p>2 期末手当の額は、基準日現在（退職し、又は死亡した議長等にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において議長等が受けるべき議員報酬の月額に、その議員報酬の月額に100分の15を乗じて得た額を加算した額に<u>100分の162.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p>	<p>(期末手当)</p> <p>第5条</p> <p>2 期末手当の額は、基準日現在（退職し、又は死亡した議長等にあつては、退職し、又は死亡した日現在）において議長等が受けるべき議員報酬の月額に、その議員報酬の月額に100分の15を乗じて得た額を加算した額に<u>100分の167.5</u>を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p>

備考 改正箇所は、下線が引かれた部分である。

附 則

(施行期日)

第1条 この条例は、公布の日から施行する。

(令和4年6月に支給する期末手当に関する特例措置)

第2条 令和4年6月に支給する期末手当の額は、この条例による改正後の第5条第2項の規定にかかわらず、この規定により算定される期末手当の額（以下この条において「基準額」という。）から、令和3年12月に支給された期末手当の額に、167.5分の10を乗じて得た額（以下この条において「調整額」という。）を減じた額とする。この場合において、調整額が基準額以上となるときは、期末手当は、支給しない。

(町規則への委任)

第3条 前条に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、町規則で定める。